

覚えておこう

扉や窓のガラスに「飛散防止フィルム」を貼り付けましょう。地震や台風で割れた際、破片による被害を防げます。

無料
事前申込制

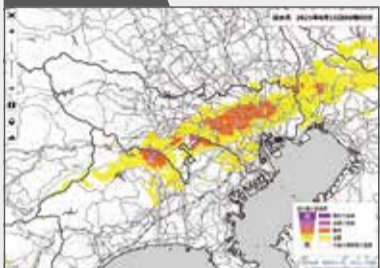
狛江市防災カレッジを開講します

激化する気象現象から身を守るためには
～防災情報の利活用について～

台風経路図

台風情報(実況と5日先までの予報)
例:令和元年台風第19号(東日本台風)

危険度分布

令和3年8月15日06時00分の危険度分布
(浸水キキクル)

台風や大雨等により東京都内で近年発生した災害事例を中心に紹介しつつ、それらの気象現象の特徴やその気象災害から身を守るために必要な台風進路予報、危険度分布(キキクル)などの防災気象情報の利活用方法について解説します。また、地球温暖化により気象現象がどう変化しているのか、これから先どう変化するのかも紹介します。

電子申請
はこちら
から

日時 令和3年12月6日(月) 午前10時～正午
場所 中央公民館2階講座室
定員 先着30名(要予約)
講師 東京管区気象台 気象防災部 防災調査課 三輪 剛史さん
申込 12月3日(金)までに電話または電子申請

「フェーズフリー」
～繰り返す災害を解決する持続可能な価値提供方法～

身のまわりにあるモノやサービスを、平常時はもちろん、非常時にも役立てることができるという考え方、それが「フェーズフリー」です。

このフェーズフリーという考え方をどのように災害への備えに活かすことができるのか学びます。

電子申請
はこちら
から

日時 令和4年1月29日(土) 午後2時～4時
場所 狛江市防災センター4階会議室
定員 先着30名(要予約)
講師 一般社団法人フェーズフリー協会代表理事 佐藤 唯行さん
申込 1月28日(金)までに電話または電子申請



※狛江市防災カレッジは、新型コロナウイルス感染症拡大などの状況によって、中止または延期になる場合もありますので、ご了承ください。

問い合わせ・申込：03-3430-1190(安心安全課)

和泉本町浄水所 耐震工事のお知らせ

災害時給水ステーションとして指定されている和泉本町浄水所(和泉本町四丁目6番1号)の耐震工事を行うため、当面の間、開設されません。

工事期間 令和4年12月31日(土)まで(予定)

工事期間に災害が起きたら？

小・中学校等の避難所に設置されている応急給水栓を活用し給水します。

また、砧浄水場(世田谷区喜多見二丁目9番1号)も災害時給水ステーションに指定されています。

在宅・分散避難のすすめ



自然災害が発生した場合に、あなたはどこに避難しますか。

「避難＝学校などの避難所へ行く」だけではありません。

ここでは、避難所以外の避難の方法を紹介します。

ご自身で、また、家族や友人と一緒に避難について考えてみましょう。

※震災時も水害時も基本的な考え方は変わりません。

在宅避難

災害時に自宅が安全な場合、自宅にとどまる避難の方法

分散避難

安全な地域に住んでいる、または、被害がなかった親戚や友人宅、ホテルなどの宿泊施設に避難する方法(縁故避難などとも呼ばれます)

在宅避難・分散避難のメリット

- ・不特定多数の人が集まる指定避難所よりも、感染症のリスクが低い。
- ・在宅避難ができる場合はプライバシーが制限されず、住み慣れた家で避難生活ができる。親戚や友人宅に避難する場合は、気心の知れた人と生活ができ、安心できる。

1 在宅避難

自宅の被害が少なく、近隣で火災や建物倒壊などの危険が迫っていない場合、自宅で避難することができます。

在宅避難をするためには？

1、家具の転倒防止対策をする

地震の場合、家具等の転倒防止対策をしていないと、家具や食器、本などが部屋に散乱し、生活が困難になりますし、落下物によるけがや、命を落としてしまうこともあります。日頃から対策をしておきましょう。

また、家具が倒れて出入口が塞がれてしまうこともありますので、家具の設置場所も点検しておきましょう。

2、生活するための物資の準備

水や食料、携帯トイレなど、流通やライフラインが途絶えた場合にも生活を継続できるよう準備してください。

※在宅避難の方も避難所で供給物資を受け取ることができます。



2 分散避難

自宅や近隣に危険があり、在宅避難ができない場合、避難所以外の安全な場所への分散避難がオススメです。

分散避難をするためには？

1、親戚や友人などと日頃から災害時のことを話し合う

災害発生直後は電話やメールがつながりにくくなるのが想定されます。災害が起きたときに避難の相談をするのではなく、平常時から話し合っておく必要があります。移動手段や経路の事前確認も忘れずに行いましょう。

2、非常用持ち出し品の準備

最低限の水や食料、常備薬など避難する際に必要なものはいつでも持ち出せるよう準備しておいてください。



3 避難所への避難

危険が迫っていて、在宅避難や分散避難ができない場合は、迷わず市が開設する避難所へ避難してください。

しっかりと対策をしたにもかかわらず在宅避難ができなくなった場合や、事前に相談していたのに分散避難ができなくなった場合などに備え、市が実施する防災訓練にも参加してみましょう。避難場所や避難経路などを確認することができ、万が一の時に少しでも落ち着いて行動するための助けになります。

避難所の開設・混雑状況はVACAN MAPSでも確認することができます。右の二次元コードをご確認ください。

狛江市LINEアカウントからも
災害時の情報を発信します！

災害時には、市のLINEアカウントからも緊急・災害情報を発信します。

平常時も市からの様々な情報を発信しているので、登録をお願いします。

登録方法など詳しくは右の二次元コードをご確認ください。

こまめ安心安全
情報メール

防災・防犯情報を発信！登録無料！ ※通信料、パケット料は登録者の負担になります。
配信内容→防犯：不審者情報、特殊詐欺入電情報他/防災：避難情報等の重要な情報他/その他：熱中症警戒アラート他

